

グループインタビューから見た退院支援にむけた取組(モデル事業案)

資料 7

必要とされる取組

事 項	内 容
1 退院支援コーディネーターの創設	<p>退院支援コーディネーター(MSW等)が、退院に向けた院内外の調整</p> <p>【業務内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院支援が必要な児の選別 ・家族との面談(退院後の意向確認等) ・ケア会議(在宅医療に向けた関係職種との調整) ・地域関係機関との連絡調整 ・在宅医療に向けた医療機器の訓練等
2 周産期センター等、訪問看護ステーション及び訪問診療所への支援	<p>容態の急変等、緊急時(レスパイトを含む)、児の入院受入等の対応</p> <p>診療報酬支給対象となっていない訪問看護等サービスへの支援</p> <p>医療連携会議等(症例検討会、勉強会)地域におけるネットワークの構築</p>
3 在宅医療資源の不足を補完するための支援	<p>乳幼児在宅医療を担う人材育成(看護師等への研修)</p> <p>母親学級、ピアカウンセリングの創設</p> <p>医療機関向け乳幼児在宅医療マニュアル(仮称)の作成</p> <p>家族向けの情報提供、退院支援の普及啓発</p>

モデル事業の実施について

- ・周産期母子医療センターやNICUが少ない地域において、上記の取組の実施が望ましい。

例) 墨東病院中心の区東部地域をモデル事業実施地域として選定し、検討分科会(区東部部会)を立ち上げ、上記の取組を実施。

モデル事業検討分科会メンバー(例: NICU医師、NICU看護師、MSW、臨床心理士、理学療法士、訪問看護ステーション代表、保健師、開業小児科医、療育施設代表等)